時事新報定價
時事新報へ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
○一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五號活字ニテ一行廿四字詰	一行二付一日限	一行二付二日以上六日迄	一行二付七日以上十五日迄	一行二付十六日以上
自一行至十行	十錢	九錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

歐洲に於ける君權民權の運動（前號の續き）

抑も十八世紀の末ゑ佛國革命の起りし以來一時君權衰へて民權の運動其勢を得、爾來五六十年を經るとゐく千八百四十八年再度の革命後は君權尚々（なほなほ）薄弱に歸しされども其後死灰再燃して此時より歐洲の政治社會は以前に變はり政權漸く一個人の手に聚まるの趣を生じたるは前號に說きたる如くゑして特ゑ近年に至りて其傾殊ゑ甚しきを見る可し例へば近來歐洲の人民は兵費の多きに苦められて孰れも之に不平を唱へ又其間には頻ゑ減兵の事に盡力するもの尠からずと雖も實際ゑ無效なるのみならず毫も其擴張を遏る能はずして一國幾萬の兵を增したりと云へば他の一國は更ゑ之に優るの兵を募り只管他國ゑ抜んずるを期して何れも其準備に汲々さり隨て其結果は財用に不足を生じて租稅愈々增加すれども費用愈々給せざれば競ふて公債を募集し負擔益々重くして人民は孰れも其苦痛を訴へざるなきゑ君主一人の意然らざるも二三宰相の權力を以て政を興論を遮ぎり兵備の擴張ゑ熱心して已まざるは驚くゑ堪へたる次第なり學者は輿論の勢力の大なるを論じて止まざれども若しも歐洲强國の君主一人が開戰を欲すれば全歐の平和は忽ち破るゝに非ずや畢竟歐洲の安危は輿論の勢力に因緣すると少くして君主一人の一顰一笑以てゐれを左右す可し、要するに今の輿論の勢力は君權を支配するに足らずして君主實に無責任の地位に在るの例證と稱して可ならん三四十年以前ゑ在りては革命の波瀾未だ全く鎭まらざるより輿論の勢威非常に激しく君主にして若し人民の意志に反する政策を施す時は人民忽ち一揆を起し猖獗の勢を振ふが爲めゑ萬乘の君も其身を容るゝゑ所なく遂に國を捨てゝ四隣に奔り或は又人民の手に囚はれ其生命を失したるも少からず斯る次第なるゞ故に當時列國の君主は何れも人民の一揆を恐れ之に權力を讓與したりしより民權一時に高まり其勢當り難き有樣なりしも爾來反動の結果として逆潮漸く奮に復し遂に今日に至りては人民の一揆少しも君主を恐れしむるに足らざるなり何となれば社會の秩序整齊し中央統轄の政令能く行はれて人民の運動自在ならざればなり又假令へ反亂は起し得さりとするも政府の兵權嚴然ゑれば人民が烏合の腕力に訴へて勝を占むるの望みなきは勿論、殊ゑ其の兵の元帥は君主にして君主の命ずる所には三軍の士生を棄てゝ歸するが如くなれば一揆の手段は實際に於ても無効なる可ければ ゐり然らば則ち民權の運動は一揆の外ゑ他の方便を要する者として之に代るゑは暗殺より外ゑ手段あらざる可けれども暗殺の術を用ひて其君主を威迫したるの例は去る千八百八十一年露國皇帝の崩御ゑして其凶變は列國君主の心を寒からしめたれども夫れ迚も警務探偵の嚴密ゐる今日に至りては其策の再び行はる可しとも思はれず又鉛々の利害より論じて歐洲多數の人民は何れも平和を希望せざるは勿からんゐれども君主の位置より考ふれば和を講ずるも利あるに非ず亂あるも損あるゑ非ず謂ゆる無責任の地位に立ち一身の功名を專として隨意に事を行へば君主の權力は尚〳〵强大ゐる可きが故に時として兵を弄ぶの念を發起するも亦人情の自然ゐる可し勿論君主としても其施政宜しきを得ざるときは國民の怨を招き政務の停滯のみか不測の禍も生ずるゑとゐれば其邊ゑ就き全く無頓着ゑは非ざる可けれども概して君權の强大は今日爭ふ可らざるの事實ゐるが如し之を要するに永遠の大計よりして論ずれば輿論ゑ反そる政略は常ゑ破れて漸く民權の運動を進むるゑ相違ゐしと雖も學者歷史家が數十百年を一括りにして純粹の理論ゑ訴へたるの說ど我輩が眼前に今の歐洲列國を視て其時勢を評するの論と其間ゑ所見の相異なるは雙方共に容む可きゑわらざれば經世家が事の實際に立入りて議論する場合ゑ若しも學者歷史家の筆意に擬し專ら永遠の事に心ゑ着目せば時に其觀察を誤る恐ある可し今の歐洲民權の運動は往時に較べて非常の發達を致したるゑ相違ゐらんなれども是れは全く數百年間の大勢ゑ付ての談のみ總じて大勢の進歩は波瀾の如く起伏進退種々の觀を表はす中ゑその一段落より伺へば時に民權畏縮の時限なきゑ非ず即ち今の歐洲は二三十年來君權復古の有樣と知るべし願ふゑ又其復古は久きに涉らずして民權の反動再び燻んなるに至るは必然なれども爰に時事を論ずるに當りてい前條兩權消長の趣に着目すると大切ならんのみ　（未完）

雜報

○薩摩燒陶器　目下我國產の陶器中海外人の嗜好に適し輸出高の多數を占むるものゝ其一は薩摩燒陶器なり今此三四年間の每年產出高を調査せしゑ其價額二十五萬圓乃至三十萬圓の間を昇降し其十分の七八は悉く海外ゑ輸出するものなる由ゐり斯く海外人の爲めゑ愛翫せらるゝゑ至りし故を聞くに往昔慶長年間鹿兒嶋藩主嶋津侯が朝鮮の漂流人をして初めて陶器を製造せしめしゑ頗る堅牢にして光澤も他產に優るゑ因り同侯は深く之れを感稱し爾後每年兩度御庭燒と稱して侯の邸內ゑ製造場を設置し好める儘に種々の陶器を製造せしめ其中ゑて最も良品を撰びて之れを自用ゑ供し內一二品を幕府に獻上するの他い悉とくみれを海中に投棄して其跡を隱くし他所にて製造するを禁じたれば之を所有するものゝさへ稀なる程ゑて三百年來の產物ゐれど更ゑ世間に散在せざりしゐり、維新以來其禁令も廢せしと共に御庭燒の古器物も世人の目ゑ觸れ其良品なるを世ゑ稱するゑ至りしかば忽ち外人の嗜好に適して續々高價にて購ひしかば次第ゑ輸出高の增加したると共に產出高も增加し從て粗製品の多くなりしかば價直ゑ當初に比すれば數段の下落ゐるも日本の陶器中尚ゑ最高の價を有すと云ふ左れば其鑑定の如きは我國人よりも寧ろ外人の方ゑ長するものゐるよしなり其原料は專ら同縣下揖宿郡より採取する堪火土、粘土、の兩種、川鍋郡加世田鄕より採取する水晶砂、日向國霧嶋山より產出する白土、櫨灰、及び上塗藥にい加世田鄕より採取する藥石等を用ひて製造する由ゐるゞ揖宿は古代の人物翠鳥、山水にては多く狩野流なりといふ

○疏水工事延期の望み　同工事に關する京都の請願者總代林亞之助氏は此の程出京して二三の大臣へ請願書を出せし由なるが楓村議官が襲ゑ京都府知事たりし節右の疏水工事を急速に起す時は人民の負擔に堪ざるに付假令へ之れを起すとも徐々ゑ着手せざるべからずとの持論ゐりしとて同議官の邸ゑも赴き又內務省土木局へも請願書を呈したるが到底同工事を中止するの運びゑい至らざるも林氏の願の如く假ゑ延期して永久に竣工を期する方向に決する望ゐきに非ずと云へり

○警鐘打方の工風　警視廳ゑてい今度盜賊及火災等迅速報知の爲め府下の各警察署を始め消防出張所幷ゑ巡査派出所へ一般非常報知信號線を架設し其際同時に警鐘をも設置するよしは當て本紙上に記載せしが今又開く所に據れば右警鐘三百餘個は芝金杉の田中製造所へ注文して目下其鑄造ゑ着手中の由ゐるが其筋にては該工事を竣工して實行するの曉ゑ至り各所より警報達する時は巡査自ら警鐘を鳴すか或は電氣を利用して一度專ら其評議中ゐりといふ

○地學協會の演說　今二十三日午後六時より京橋區西紺屋町十九番地東京地學協會ゑ於て例會を開くよしにて當日は坪井正五郎氏が「アイノ風俗談」を演說して寫眞及び日用器具等を示すと云ふ

○臺灣の虎列刺病　同地方にて一時猖獗を極めたる虎列刺病も追々猛威を減したる爲め同地の民心も大いゑ穩かとなり過る九月下旬の暴風雨にて全く同病の地を拂ひたる模樣なりと淡水發の報に見えたり

○川崎町　東海道川崎驛は神奈川縣橘樹郡に屬し府下荏原郡と六鄕川を以て境し新宿町、久根崎町、小土呂町堀ノ內村の四町一村ゑ一役場を置きしが今度町村制度の實施に付ても別段分合をなす可き必要も無ければ前記の四町一村を以て川崎町を組織するゐらんと云へり

○横濱の絲況　は日々商況欄內に見ゆる如く此程中米船、加拿陀船、佛船等の出帆前ゑて坐繰絲中以下の品直安ゐから弗々手合出來し上等細口物も直段ゑよりて稍々買氣ある商館も之れ有り市況靜穩相場不味なから可ゐりの賣行なりしが最早何れも出帆後となりし昨日今日は既に引込ゐる分の納り工合面白からざるのみならず一體ゑ落付さる姿にて見込ゐき市況なりと云ふ

○大坂製茶輸出の景況　客月中同會社より米國紐育府志加古、加奈陀等へ委托輸出せし製茶の斤數は二萬六千三百四十五磅此價數四百一個ゑして其商況は本年五月以來同社より輸出せし製茶にて賣捌濟の報告ありしい四回のゑゐれども極めて平穩に賣行き米國ゑ於てい目先幾分か騰貴の模樣なれば賣人い手堅くして賣急ぎを爲さゝるも買人の方にては投賣りを待ち構へ互ゑ白眼合の姿にして捗々敷取引なしと云ふ又內地の商況は昨年に比すれば產地より出廻り品減少せしにも拘はらず價格い不味の模樣ゑて捗々敷取引もゐく同社より昨年九月中輸出せし高に比すれば本年い七萬封度を減少しゐりと

○獸肉の相場　當年は如何ゐる原因なるゑや例年なれば牛肉の直段は日々上進する季節なるにも拘はらず矢張り居据りの姿なる由之に反して豚肉い例もにゐき上景氣なりとゐれは近來茨城、福嶋、栃木の各縣下にて養豚の流行して養らんといへり加之三四回宛食用ゑ當季は豚の拂の秋一時牛肉の物好は吾も人もたるとにて忽ち近づく故にや或は裏込屋抔ゑなし今其相場を等六圓五十錢、牝斤ゑ付七圓內外二圓、牛骨、八貫目ゑ付均每日の屠殺高いふ

○大坂磨砂會社の發起にて今度西區南堀江三番種々の砂類を販府へ出願なしさ

○沈沒船の浮上　龍丸と衝突して去る十七日貨るより修繕の爲て大坂に廻りた

○總房丸　安房往復を營業せ外部の工事を付中ありといふ

○大坂輸出入の入の諸貨物及び

東區
輸出貨物
此元價
輸入貨物
此元價
輸出貨物
此元價
輸入貨物
此元價
輸出貨物
此元價
輸入貨物
此元價